

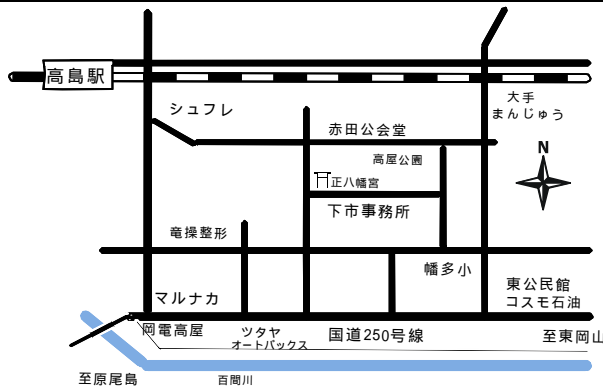
下市 このみ



このまち。みんなで作ろう。
女性いきいき 政治が変わる!

市政・市民相談受付中!

TEL&FAX 086(270)5333
月曜日～金曜日 9:00～17:00
(留守電・FAX24時間OK!)



発行：下市このみ事務所

岡山市高屋 187-4-201 TEL&FAX 086-270-5333

<http://ww3.tiki.ne.jp/s-konomi/>

e-mail: s-konomi@mx3.tiki.ne.jp

どうなる？三丁目劇場

「感動産業」の失速

2000年4月、岡山市は天満屋ハウジングから改修後の建物と土地を4億4600万円で買い取り、三丁目劇場をオープンし、感動産業としての「吉本興業」の定期公演が行われてきました。当初、市長は「市民に負担を掛けないことが重要。長い目で見れば、市民の負担はゼロ以下。数年で単年度黒字となり、十年後には累積でも黒字になる」と見通していました。また、市長は「男女共同参画社会推進センター(仮称)も近く、中心市街地の活性化につながる」と確信している。地元タレントの発掘や市民グループの育成にも力を注ぎたい」と述べていました。

三丁目劇場の収支状況の結果は、収入が支出を上回ったのはオープンした2000年度だけで、それ以外は全

部赤字でした。そして、ついに今年4月から吉本興業の定期公演はなくなり、10年後の累積黒字などとても望める状況ではありません。また、もともと古い建物でもあり、予想以上に改修費もかさんでいます。今年度も1580万円の事業費を予算計上しており、吉本興業の撤退後、使用料収入がもっと減れば、市民負担は増加することになります。

また、中心市街地の活性化に「吉本興業」人気が及ぼした影響は一定程度あると思いますが、それも「吉本興業」の撤退で元に戻ります。

行政が民間企業に事業を委託する場合、10年間を見通すなら、10年間の契約が必要です。民間企業は儲からなければ辞めるということを忘れてはいけません。今回の見通しの甘さを反省し、市民への情報提供を十分に行い、市民の声をしっかりと聞く態度を保ち、市民参加を土台に据えた上で、今後の事業を進めるべきです。

シリーズ 議会

議長・副議長選挙

「一寸先は闇」の議長選出 徹夜議会もあたり前?

議員の任期は4年間ですが、岡山市議会では慣例により、議長・副議長は2年で交代することになっています。

任期途中の議長・副議長選挙は、現議長・副議長が辞職願いを出すことから始まります。通常は5月臨時議会で議長・副議長が替わることになり、続いて委員会の構成メンバーも替わり、新しい委員長・副委員長が選出されます。

しかし、このところ、任期途中の議長・副議長選挙は、

5月臨時議会でスムーズに行われていません。前回2001年も5月臨時議会では、副議長だけが替わり、議長は6月議会で辞職願いを出し、交替しています。

議長選挙は、議長になりたい人が多く、水面下の根回しが活発に行われるため、とても時間がかかります。前回の議長選挙(2003年)では、立候補制を取り、立候補受付時間も決めました。でも、臨時議長がブザーを押さないと本会議は始まりません。臨時議長を抱える会派内が一致せず「もう少し待ってくれ」となると本会議開始のブザーは鳴らないのです。

議長選挙の議会は、根回しに時間がかかり、会期延長になることも多く、市民の皆さんには理解しにくいところだと思います。

お知らせ

5月16日(月)・17日(火) 平成17年5月臨時市議会

6月5日(日) ひまわりマーケット(10:00～13:00 高屋公園) 出店希望は 270-5333まで!

6月9日(木)～24日(金) 平成17年6月定例市議会

いつ見ても利用者が少ない！

アクションスポーツパーク(ASPO)

岡山市の貴重な都市空間ながら長年放置されてきた岡山操車場跡地は、2000年9月から事業プロポーザル(設計・施工の提案)という手法で、岡山ドーム(2003年4月オープン)とアクションスポーツパーク(2001年8月オープン)が整備されました。

1996年に市が約78億円で取得した東地区は、国との約束で2002年度末が施設整備の期限。用地費は当時のサッカー場構想を前提に、国の有利な財源措置がある地域総合整備事業債(地総債)を充てており、施設はスポーツ関連が条件。地総債の関係で市の財政負担が最も少ない整備費は用地費の1/3の約26億円でした。

巨額の赤字計上

プロポーザルの提案からドームとASPOの一体経営のために設立されたエックススポーツジャパン社(エックス社)は、ASPOの入場者が見込み(年間50万人)の1/10程度に低迷し、借金約3億円と未払い金約1億3000万円という巨額の赤字を計上、資金繰りに行き詰まりました。岡山市は、そんな会社でもドームとの一体経営が「信義則」だとし、2002年11月議会に7100万円を出資するという提案をしましたが、議会は「借入金等の処理が不明確な状態で市費を出資することは認められない」とし、予算の減額修正案を全会一致で可決しました。

岡山ドームの委託

その後、エックス社は、2003年末に筆頭株主の蜂谷工業の追加出資などで危機をしのぎ(出資金の50%減資)、2004年3月から岡山ドームの運営を委託されました。

ドームの管理委託料は、市議会の要望で、ASPOの経営とは明確に切り離すことが条件になっており、エック

ス社が経営改善するためには、ASPOの運営で利益をあげることが至上命題になります。ドームの利用人数、使用料収入とも昨年より増加しましたが、それでも収入は当初見込みの約2/3ほどで、施設維持費や人件費などが市の財政を圧迫しています。利用者も性質も違うドームとASPOの一体運営による相乗効果は不透明であり、「むしろ、公共性が高いとされるドームの位置づけが不明確になる」「なぜそこまでして一民間企業に肩入れするのか」という指摘もあります。

ASPOの上もの施設

ASPOの遊戯施設のうち危険性が指摘された施設は、いまだに使用中止になったままであり、その撤去問題などもくすぶっています。さらに、すべての遊戯施設は2006年8月に、エックス社から市に無償譲渡される契約となっており、今後の維持管理に市税が投入されることも懸念されています。

なぜこんなことになったの？

民間の提案を受け、民間活力を導入した事業が、なぜこんなにわかりにくくなったのでしょうか？プロポーザル提案を評価した審査会(市の内部機関)に「市民のために」という土台はあったのでしょうか。

現在の岡山市は、「なにが何でもドームを使う」という姿勢が見え見えです。去年から、消防の出初め式が、今年からは成人式も岡山ドームに場所が変わりました。ドームの管理運営は、エックス社の仕事となっており、ドームとASPOの一体運営による相乗効果が現れないのなら、それはプロポーザル提案そのものの問題となります。

ASPOの上もの施設が返還される前に、「市が使うドーム」から「市民が使いたいドーム」へと変化するためには、この公園に何が必要なのか、もう一度市民の意見を聞くべきときではないでしょうか。

合併 あれこれ

【第1回】御津特例区で話を聞きました

岡山市は御津町と灘崎町の編入合併に際し、両町に全国で最初に「合併特例区」を設置しました。

合併特例区の設置目的は、広域行政の効率性を求める反面、その欠点を補完するために、地域の多様性・個性を残し、住民活動が身近になる行政システムを作ることです。

お話をうかがったの感想は

御津区の機能のひとつは、新市建設計画に盛り込まれた事業の推進だが、御津から提出された事業計画は合併協議会(法定)の中で十分に議論をし、決定されたとはいえず、事業の推進に不安を感じている。

御津特例区協議会の委員選出方法は、住民の意見が十分反映されていない。御津特例区協議会と現在機能

している住民組織(区長制度)とのつながりがいないため、住民活動を身近なところで補完することが担保されていない。

御津特例区協議会は、市長や御津特例区長からの諮問(しもん)に対して意見を述べるという受身の仕事だけでなく、協議会自身が住民の意見を基に地域振興に関して企画し、推進する組織にするべきである。などでした。

今回設置された特例区の機能、運用は今後も改善していく必要があると思いました。

合併特例区とは

独立した特別地方公共団体であるが、区長は選挙によって選出されるのではなく市町村長が選任した特別職の職員である。また、区議会も設置されないが一定の決定権を持つ合併特例区協議会が設置される。